

# 松本市松枯れ被害対策基本方針

令和5年6月2日改訂

## 1 目的

この方針は、松枯れの被害状況に応じた防除対策や森林整備等に取り組み、松林の保全・森林の再生を目的とするものです。

## 2 現状

本市では、平成16年度に島内地区で松くい虫による被害が初めて確認されました。平成23年度から被害が激増し、現在では、奈川地区を除く市内全域に拡大しています。平成29年度に比べ、近年は対策事業費を倍増して対策を講じています。

また、アカマツは市内民有林森林面積の16パーセントを占め、カラマツに次ぐ本市の主要樹種であり、戦後植林され利用期を迎えたアカマツの利活用も課題となっています。

### (1) 森林再生活用事業費(松枯れ対策)の推移 (単位:千円)

年 度	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4
事業費	138,628	152,028	232,339	324,456	267,735	243,984

### (2) 市内民有林におけるアカマツ林の構成

- ア 民有林森林面積 38,272ヘクタール
- イ アカマツ林面積 6,132ヘクタール(16パーセント)  
うち利用期(林齢40年生以上) 5,980ヘクタール

(令和4年10月現在 長野県森林簿データから)

## 3 対策の考え方

- (1) 市内のアカマツ林は、断続的かつ広範囲に分布していて、狭い海岸林などとは異なり、防除対策を徹底的に実施し、周辺被害林から孤立させて被害を防ぐという手法がとれないため、被害拡大防止は困難です。
- (2) 松くい虫被害により枯れたアカマツ林は、年月はかかりますが、多くの箇所ですべて自然に広葉樹林へと生え変わっていきます。
- (3) また、標高が高い位置にあるアカマツ林は、マツノマダラカミキリが繁殖しないため、当面は枯れないと考えられます。
- (4) しかし、アカマツは、市内の森林を構成する主要樹種であり、里山の景観を形成し、木材や特用林産物が得られるなど重要な樹木であるため、利活用を推進していきます。

## 4 対策の概要

### (1) 被害拡大抑制

- ア 被害先端地に集中した伐倒駆除を実施します。
- イ 個人又は団体が管理する被害木の伐採及び樹幹注入に、補助金を交付します。

### (2) 市民生活の安全確保

- ア 生活道路沿線の危険木は、事故等を未然に防ぐため、優先的に処理します。
- イ 鳥獣防護柵を破損するおそれがある被害木について処理します。
- ウ 災害のおそれがある被害林については、保全対象を検討した上で対策を実施します。

### (3) 資源の利活用

- ア 被害が少なく伐採搬出が可能で材の売上収入が見込める箇所は、更新伐や樹種転換事業として事業を支援します。
- イ 伐採された被害木で活用できるものは、用材やチップ等での利用を促進します。

### (4) その他の対策方針

- ア 被害が激甚な地域について、地区松くい虫被害対策協議会において対策を協議します。
- イ 2050ゼロカーボンシティ実現に向け、木質バイオマス利用を推進します。

## 5 その他

### (1) 防除方法の普及

市民に対し、市広報やホームページの他、出前講座や防除講習会等によりマツノザイセンチュウ病（松くい虫による松枯れのメカニズム）の理解と防除方法の普及を図り、被害木の伐採や樹幹注入等により、所有者が自ら守るよう啓発します。

### (2) 方針の運用期間

松枯れ対策を包含した松本市森林長期ビジョンを令和6年度に策定することから、この方針の運用期間は、令和6年度までとします。

## 【防除手法一覧】

項 目	実 施 内 容
1 伐倒駆除	<ol style="list-style-type: none"><li>1 被害木を伐倒、玉切り、集積し、くん蒸処理(薬剤を散布してシートで覆う。)を実施する。</li><li>2 被害木を伐倒、玉切りを行い、搬出して破砕処理(破砕機によるチップ化)を実施する。</li><li>3 上記以外にクレーン等の大型特殊機械の使用や、被害木に登って吊るし切りを実施する(特殊伐採)。</li></ol>
2 更新伐	被害木を含めた天然林のアカマツは7割以上、人工林のアカマツは5割以内で伐倒し、一部の健全な木を残しながら実生又は萌芽更新によって他の樹種に更新させ、健全な里山へ再生させる。
3 樹種転換	<ol style="list-style-type: none"><li>1 長野県樹種転換促進指針により、松林を松以外の樹種へ転換する。 実施に当たっては、早急に感染源を除去するため、生立木の伐採を先行する。</li><li>2 林内に放置されているアカマツの枝条や残材は大型破砕機により破砕して、カミキリ虫の卵、幼虫、さなぎの駆除を実施する。</li><li>3 適地適木による樹種を選定して植栽を行い、健全な里山へ再生させる。</li></ol>
4 樹幹注入	健全な松の樹幹に直接薬剤を注入し、マツノザイセンチュウの侵入及び増殖を防止する。